



JTKALVBGF

# SWK-W10

*Wireless subwoofer kit*  
*Ensemble de caisson de sous-graves*  
ワイヤレスサブウーファーキット

OWNER'S MANUAL

MODE D'EMPLOI

BEDIENUNGSANLEITUNG

BRUKSANVISNING

MANUALE DI ISTRUZIONI

MANUAL DE INSTRUCCIONES

GEBRUIKSAANWIJZING

ИНСТРУКЦИЯ ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ

使用说明书

사용 설명서

取扱説明書

English

Français

Deutsch

Svenska

Italiano

Español

Nederlands

Русский

中文

한국어

日本語

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

保証書別添付

## 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ■ 記号表示について

この製品やリファレンスに表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

### ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	<b>警告</b>	警告この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	注意この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 警告

### 電源 / 電源コード

 **必ず実行** 電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

 **プラグを抜く** 下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステーブルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

### 分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

### 設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
  - 加湿器を過度にきかせた部屋
  - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。

電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

## 設置



必ず実行

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から 22 cm 以上離して使用する。

ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

## 使用上の注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

## 手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

## 注意

### 電源 / 電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。感電や発熱および火災の原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

## 移動



プラグを抜く

移動するときは、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## 使用上の注意



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがある。正常に動作しないときには、電源を入れられない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

## 手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

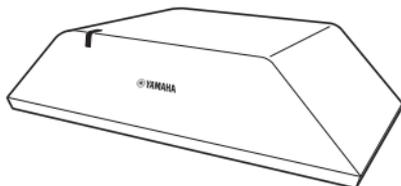
## ■ はじめに

SWK-W10は、送信側ヤマハ製の機器(YIT-W10、YSP-4100 など) から無線送信されたサブウーファー信号の受信器です。SWK-W10とアンプ内蔵型サブウーファーをサブウーファーケーブルで接続することにより、受信したサブウーファー用の低音を再生できます。ヤマハ「AirWired」技術により、送信側機器の電源や音量を操作するとサブウーファーの電源や音量も連動して動作する、簡単操作を実現しています。

## ■ 同梱品

同梱品がすべてそろっていることをご確認ください。

### SWK-W10



### 取扱説明書



## AirWired

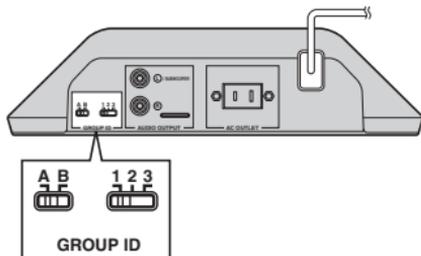
「エアワイヤード」 「AirWired」 は、ヤマハ株式会社の商標です。

### 本機の無線方式について

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| <b>2.4XX4</b> | 「2.4」 2.4 GHz 帯を使用する無線設備  |
| 「XX」          | 変調方式はその他の方式               |
| 「4」           | 想定干渉距離が 40 m 以内           |
| —————         | 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能 |

## ■ SWK-W10 を使用する

- 1 本機とアンプ内蔵サブウーファーがコンセントに接続されていないことを確認する。
- 2 送信側ヤマハ製機器のグループ ID に合わせて本機のグループ ID を設定する。グループ ID は、2 つのグループ ID スイッチを組み合わせて設定します。「B2」に設定する場合は、それぞれのスイッチを「B」と「2」に合わせてください。



グループ ID スイッチ

### ※ ヒント

- 送信側ヤマハ製機器のグループ ID について詳しくは、送信側ヤマハ製機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 送信側機器に A / B 切り替えがない場合、本機の A / B 切り替えは A に設定してください。

### 3 本機をサブウーファーの上または近くに設置する。

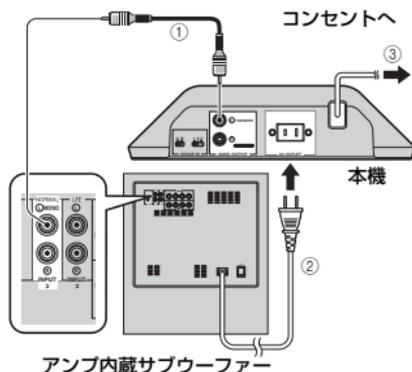
サブウーファーの上に設置した場合、振動で本機が動くことがあります。その場合は他の場所に設置するか、動かないように本機を固定してください。

### 無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

**4** 以下の順番でケーブルを接続する。

- ① サブウーファーケーブルを使用して、本機の AUDIO OUTPUT (SUBWOOFER) 端子をサブウーファースの音声入力端子に接続します。
- ② サブウーファースの電源ケーブルを本機の AC OUTLET 端子に接続します。
- ③ 本機の電源ケーブルをコンセントに接続します。

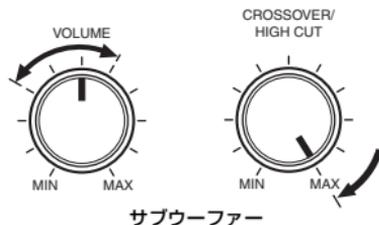


**ご注意**

- 消費電力が100Wを超えるサブウーファーは本機の AC OUTLET 端子に接続しないでください。

**5** サブウーファースの電源をオンにする。

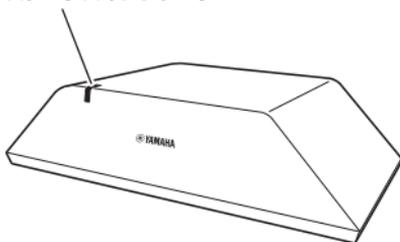
**6** サブウーファースの音量を約半分、クロスオーバー周波数を最大に設定する。



**7** 送信側機器の電源をオンにする。

本機と送信側機器とのワイヤレス接続が確立すると、ステータスインジケーターが緑色で点灯します。

ステータスインジケーター



インジケーター	状態
赤	送信側機器の電源がオフになったため、本機の電源もオフになりました。本機の電源をオンにするには、送信側機器の電源をオンにしてください。
橙	接続確認中です。しばらくお待ちください。
緑	ワイヤレス接続が確立しました。

**ご注意**

- リモコンで操作可能なサブウーファーをご使用の場合、本機からの電源オン/オフ制御が正しく動作するよう、サブウーファースの電源設定を「常時オン」に設定してください。

## ■ 故障かな？と思ったら

本機が正常に動作しなくなった場合は下記の点をご確認ください。対処しても正常に動作しない場合や、下記以外で異常が認められた場合は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因	対策
音が出ない、またはステータスインジケータが緑色に点灯しない。	グループ ID が一致していない。	グループ ID を合わせてください。
音が出ない。	グループ ID が一致していない。	グループ ID を合わせてください。
	送信側機器と本機の間に障害物があるため、電波が遮られている。	障害物を移動してください。 本機の設置場所を変更してください。もしこれらの機器が IEEE802.11n 対応の場合、本機に影響が出ないようチャンネル設定を変更してください。
	周囲に 2.4GHz 帯の電波を出す機器（電子レンジ、無線 LAN 等）がある。	本機をそれらの機器から遠ざけてください。
	本機とサブウーファーがしっかりと接続されていない。	接続をご確認ください。
	音量が小さい。	サブウーファーの音量を大きくしてください。 送信側機器の音量を操作して音量を大きくしてください。送信側機器の操作に連動して、音量が大きくなります。
	ワイヤレス接続の状態が不安定。	本機の電源プラグを一度コンセントから取り外し、再度接続してください。ステータスインジケータが緑色で点灯しているかご確認ください。
音量が小さい。	サブウーファーの AC 電源をオンにしたときに本機はスタンバイ状態になる。	サブウーファーの AC 電源をオンにしたときに本機の電源もオンになるように、サブウーファーの電源設定を変更してください。 サブウーファーの音声設定を音声検出モードに設定してください。
	音量が下げられている。	サブウーファー側の音量を大きくする、またはクロスオーバー周波数を調節してください。

## ■ 主な仕様

電源電圧／周波数.....AC100V、50 / 60Hz  
消費電力.....3W  
非ワイヤレス接続時の消費電力 ..... 1.5W 以下  
AUDIO OUTPUT (SUBWOOFER) 端子  
.....2V / 120Hz 以下  
AC OUTLET 端子.....最大 100W  
通信可能距離 .....約 20m (妨害のないとき)

外形寸法（幅×奥行き×高さ、突起物含まず）  
.....210 × 53.5 × 120.5mm  
質量 .....0.8kg  
\*仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

## ヤマハ AV 製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

## 本機の設置や設定、操作に関するお問い合わせ

### ■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器相談窓口

ナビダイヤル  
(全国共通)  0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

## ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通)  0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

## ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## ● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

## ● 修理料金の仕組み

**技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。  
**部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。  
**出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

## ● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

## 永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

